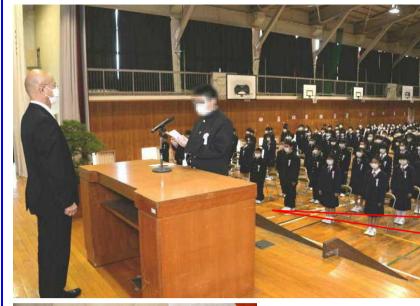


## 張感をもって臨んだ入

岡山市立福南中学校通信 発行:校長 小野 大

4月9日に、本校では第44回入学式を挙行 いたしました。他の地域では、入学式ができな くて、教科書等配付のみの学校もあった中、無 事行うことができてほっとしています。卒業式 と同様、新型コロナウイルスの感染拡大防止の ため、参加者を縮小し、新入生とPTA会長様、 保護者の皆様、教職員のみの入学式でした。 来賓の皆様や在校生、吹奏楽部の演奏がない中 での式でしたが、新入生の元気な返事や式の間 の素晴らしい姿勢で、福南中学校へ入学する新 入生の決意を感じさせてくれました。

さて、感染防止としては、クラス発表は掲示 ではなくクラス名簿を配付しました。また、参 加者は全員マスク着用とし、生徒席を男女各2 列、保護者席をひとクラス2列+3列の5列配 置で、体育館横幅いっぱいを使い、換気のため に小窓を開けた状態で、入学式を行いました。 ご列席いただいた皆様、本当にありがとうござ いました。





【新入生入場】

杉原諒彦君が、新入生の不安や期 待、決意などを込めた新入生宣誓 を堂々としてくれました。新入生 の皆さんの中学校生活が充実した 時間になることを願っています。







【PTA会長 廣本浩之様 祝辞】



## 歓迎の言語

在校生代表として、阿部裕徳君が 参加し、「歓迎の言葉」を伝えて くれました。在校生全員の気持ち を、入学した頃を思い出しなが ら、堂々と伝えてくれました。こ れから福南中の仲間として、力を 合わせて頑張っていきましょう!





↑クラス発表



式前のクラスでの学活↓















山形裕子様に保護者代表の 挨拶をして頂きました。子 供たちの成長を願う温かな ご挨拶を頂きました。



入学式後の学活の様子です。今年度は 密集状態を避けるために、式後に保護 者の方が教室で参観されるのをご遠慮 して頂くようお願いし、ご協力して頂 きました。



6年生の最後の貴重な「時間」と「場」を失ったことで、 皆さんは学校について、何を思い、どんなことを考えたの でしょうか。

<u>お祝いの言葉</u>

私は、学校という場は「人づくりの場」、だと考えています。人づくりとは「人とつながる力をつけること」です。 自分とは違った考えや個性をもった人を受け入れ、その人 と力を合わせて学習や活動ができることだと考えています。 自分とは違った考えや個性の人とは、ぶつかることもある かもしれません。しかし、その人を切り捨ててしまうのではなく、どうすればその人の考えや個性を生かせるか、ど ういう言葉で伝えれば共に活動できるかを考えて行動でき ることです。また、周りの人のために少しの勇気を出して 行動できることは大切なことです。しかし、それと同じく らい大切なことは、周りの人がしてくれていることに気づき、ありがとうの言葉を伝えることです。人とのつながりを大切にすることで、周りの人の可能性を広げ、そのこと が自分の可能性を広げることにつながります。一人ではで きない成長をすることができるのです。そのような「場」 が学校なのです。福南中での授業やいろいろな行事を通し 仲間とのつながりを大切に、あなた自身が備えている 可能性をさらに広げ、深めていく時間にしてほしいと思っ